

様式1

令和8年度 清瀬市立 清瀬第二中学校 学校評価計画

学校の教育目標		愛情 より豊かな 心をつちかう 勤労 よりよくはたらき 責任をはたす	学力 より深く 自ら学ぶ 健康 よりたくましく 心身をきたえる	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動		
目指す学校像(ビジョン)		○育成を目指す資質・能力 ・豊かな心と人間性の育成 ・知識・技能の定着 ・たくましい心身の育成 ○特色ある教育活動 ・体験学習や講演会等を通して、心の育成を図る ・地域や小学校と連携して、体験的な活動のより一層の充実を図り、地域や郷土を愛する心を育む				
【目指す学校像】	「笑顔 と あいさつ 」が溢れる清瀬二中					
【目指す児童・生徒像】	・自分で考えて行動する力をもつ生徒 ・前に踏み出し、粘り強く取り組む生徒				・豊かな心とすべての人に感謝の心をもつ生徒 ・興味をもち、考え抜く生徒	
【目指す教師像】	・生徒が主役であることを大切にし、誇りとやりがいのもてる教師					
前年度までの学校経営上の成果と課題						
・小学校との連携を進めることができた。今年度はより一層、地域・小学校との連携を進めていく。 ・特別支援学級、サポートルーム、チャレンジルーム等の連携を深め、特別支援教育の充実を図る。 ・ICTのより一層の活用を図り、授業力の更なる向上を目指す。						
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)	
命の教育	生徒の自他を大切にすること、心や自己実現へ向けて努力する態度の育成を図る。	行事や学級活動に主体的に取り組ませることで、達成感を味わわせ、自己肯定感や自尊感情を高める。	学校行事や学年行事、学級活動、委員会活動、授業に生徒が主体的に取り組むような指導計画を立て、実践する。	4 教職員の取り組み評価がA・Bが90%以上 3 教職員の取り組み評価がA・Bが80%以上 2 教職員の取り組み評価がA・Bが60%以上 1 教職員の取り組み評価がA・Bが60%未満	4 生徒の自己評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 生徒の自己評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 生徒の自己評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 生徒の自己評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
		いじめがなく、生徒一人一人が大切にされる学校・学年・学級作りを目指す。	いじめ調査やいじめ防止授業、学級環境適応尺度調査を実施して、学級経営や面談に活用する。	4 調査と面談を合計6回以上 3 調査と面談を合計5回 2 調査と面談を合計4回 1 調査と面談を合計3回以下	4 生徒の学校生活評価A・B90%以上 3 生徒の学校生活評価A・B80%以上 2 生徒の学校生活評価A・B50%以上 1 生徒の学校生活評価A・B50%未満	
		授業の質的向上を図り、生徒の他者と協力して学ぶ姿勢や思考力・判断力・表現力を育てる。	他の生徒と協力して学びに向かう姿勢や課題解決のために考え抜く力、自分が学んだことを活用、表現する能力を育てる。	4 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%以上 1 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%未満	4 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
		GIGAスクール構想に基づき、ICTの活用に取り組む中で、主体的、対話的で深い学びの実現を図る。	今までの研修で学んだことを活かし、ICTを活用して、授業改善を図る。	4 全教科での実施 3 実施率80%以上 2 実施率50%以上 1 実施率50%未満	4 生徒の評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 生徒の評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
学力向上	運動を楽しみ、健全な食生活を意識して、健康的に生活する態度を養うとともに、健康な心身の成長に関する意識を高める。	体育の授業や体育行事、部活動により、生徒の健康的に生活する態度を育む。	体育の授業において新スポーツの導入等の推進を通して、運動することの楽しさについて指導する。	4 教職員の取り組み評価がA 3 教職員の取り組み評価がB 2 教職員の取り組み評価がC 1 教職員の取り組み評価がD	4 生徒の評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 生徒の評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
		正しい生活のリズムについて指導し、食育を推進して、健康的に生活するための知識を身に付けさせる。	給食だよりや保健だより等を通して健康に関する情報を発信する。また生徒が自分の生活を見直す活動を実施する。	4 授業や取組の回数が合計10回以上 3 授業や取組の回数が合計8回以上 2 授業や取組の回数が合計5回以上 1 授業や取組の回数が合計5回未満	4 生徒の評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 生徒の評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 生徒の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
地域とともにある学校づくり	「社会に開かれた教育課程の実現」と家庭・地域との連携を推進する。	学校運営協議会・学校支援本部と連携して様々な活動を展開するとともに、外部人材の活用を図る。	学生や保護者・地域の方と連携してのボランティア活動を実施する。	4 地域の人材活用の取組を年8回以上実施 3 地域の人材活用の取組を年6回実施 2 地域の人材活用の取組を年4回実施 1 地域の人材活用の取組を年2回実施	4 保護者の評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 保護者の評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
		学校の情報を地域・保護者に積極的に発信する。	学年だより、ホームページ等を活用して情報を発信する。	4 学年便り発行計50号以上、HPの更新毎週4回以上 3 学年便り発行計40号以上、HPの更新毎週3回以上 2 学年便り発行計30号以上、HPの更新隔週2回以上 1 学年便り発行計20号以下、HPの更新隔週1回以下	4 保護者の評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 保護者の評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
個に応じた支援	特別な支援を必要とする生徒への支援の充実を図る。	特別な支援を必要とする生徒に関する情報を共有して指導・支援を行う。	特別支援委員会を中心とした情報交換や指導方法等に係る検討会を定期的に実施する。	4 隔週ごとに実施 3 月に2回程度実施 2 月に1回程度実施 1 隔月ごとに実施	4 教職員の評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 教職員の評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 教職員の評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 教職員の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	
		特別な支援を必要とする生徒への支援方法や特別支援学級についての研修を実施する。	特別支援委員会を中心とした外部のアドバイザーによるカンファレンスや特別支援学校コーディネーターをよる、研修会等を実施する。	4 年15回以上の実施 3 年10回以上の実施 2 年5回以上の実施 1 年5回未満の実施	4 保護者の評価が4段階評価でA・Bが90%以上 3 保護者の評価が4段階評価でA・Bが80%以上 2 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%以上 1 保護者の評価が4段階評価でA・Bが50%未満	